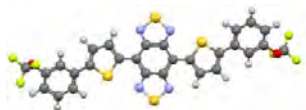


有機エレクトロニクスを使ったソフトセンシングデバイスの開発

キーワード[シート型バイタルセンサ, 印刷プロセス, 医療応用] 研究専任教授 熊木大介



有機半導体



銀ナノ粒子インク



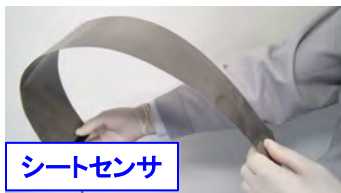
超微細印刷



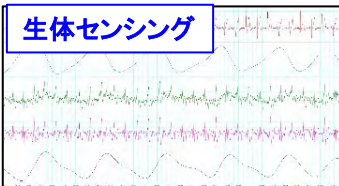
ロールtoロール印刷



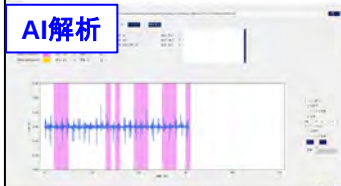
FHEデバイス



シートセンサ



生体センシング



AI解析



実証試験開発



医療応用

内容:

IOT社会において、柔軟性や伸縮性を持つソフトセンサは、人と情報を繋ぐキーデバイスとして、ヘルスケアやロボティクスをはじめとしたさまざまな分野で応用が期待されています。また、環境にやさしい印刷プロセスを使ったものづくりは、持続可能な社会を実現する低炭素テクノロジーとして期待されています。

私たちの研究グループでは、印刷プロセスを使って形成するセンサデバイスや集積回路の開発、ソフトセンサから得られたセンシングデータの信号処理や解析技術の開発、それらを統合して製品をイメージしたプロトタイピングや実フィールドでの実証試験開発などを行っています。

アピールポイント:

医学部附属病院や地域教育文化学部などと連携した実証試験を行っています。企業や医療機関との共同研究を通じて、センサデバイスの医療応用に向けた開発を行っています。

分野: 有機エレクトロニクス
専門: 有機電子材料、印刷プロセス、ソフトセンサ

E-mail: d_kumaki@yz.yamagata-u.ac.jp

Tel: 0238-26-3290

Fax: 0238-26-3788

HP: <https://tokitolabo.yz.yamagata-u.ac.jp/>



材料からサービス(社会実装)まで包括する研究開発